

San-iku 通信



ご自由にお持ちください。

2017 WINTER

Vol. **12**

Vol.

社会福祉法人 賛育会 広報誌
さんいく通信

New!

特集

たちばなホーム

ヒートショック ～脱衣所や浴室を温かくしましょう！～
健康でおいしく ～小田巻蒸し(うどん入り茶碗蒸し)
賛育会ヒストリー ～第三章 第四話

表紙写真:たちばなホーム ご利用者と一緒に



特集

たちばなホーム

皆様と共に歩んで20年
笑顔が溢れる施設を目指して
地域福祉の発展に積極的に取り組みます

今を遡ること20年前の1997年2月1日に、たちばなホームは開設しました。

はなみずきホームに次ぐ墨田区で2番目の公設民営施設として、開設時から賛育会が運営を行っています。都市部にある老人ホームらしく、大きな幹線道路に面して地下1階～地上5階建て(生活スペースは2階～5階)の建物になっています。たちばなホーム1階には【墨田区障害者団体連合会】の皆様が運営する『福祉喫茶ともだち』があり、ご利用者や職員のみならず、地域の皆様の憩いの場となっています。

賛育会の運営する施設の多くは同一敷地内に全事業がまとまっていますが、当施設は、特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター及び高齢者支援総合センター、高齢者みまもり相談室がそれぞれ別々の場所で運営している珍しい施設です。

近年、介護の現場では深刻な人材不足に陥っています。たちばなホームでは10年前から介護の資格がある永住・定住外国人の方を積極的に採用してきました。高齢者に対しての優しい態度と勤勉な姿勢は、ホームや



サービスセンターのご利用者からも高い評価を得ています。今後は、「介護の勉強がしたい」という外国人留学生の受け入れも検討し、多様な人材で地域包括ケアを支える拠点を目指します。

立花地区への地域貢献を進めるために、今年立花4丁目に都市型軽費老人ホームの開設を提案し、来年の開設を目指して現在着々と準備を進めています。このように、たちばなホームは地域福祉の充実、発展を目指してこれからも必要とされる課題に対して積極的に取り組んでまいります。

たちばなホーム概要

特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)	定員56名
ショートステイ(短期入所生活介護施設)	定員6名
デイサービス(高齢者在宅サービスセンター)	
●通所介護・介護予防通所介護	定員40名
●地域密着型認知症対応型通所介護	定員24名
高齢者支援総合センター(地域包括支援センター)	*墨田区委託事業
高齢者みまもり相談室	*墨田区委託事業

地域で支えあう街『文花(墨田区)』



たちばなホームのある墨田区立花の隣に『文花』という町があります。文教施設が多いことから「文」、吾嬭神社の祭神弟橘媛(おとたちばなひめ)から「花」をとり、「文花」と掛けたのが地名の由来です。たちばなホームがある立花の地名も弟橘媛に由来しています。昔ながらの人情味のある街並みと『向こう三軒両隣』という古き良き人情味のある街です。

文花には『文花団地』という区内でも有数の大型都営住宅があり、その一角に『文花高齢者みまもり相談室』があります。高齢者の多い地域でもあり、在住している高齢者の皆さんの『良き隣人』としての役割を担っております。

■インフォメーション 特別養護老人ホーム たちばなホーム

TEL:03-3613-8718
東京都墨田区立花3-10-1

■Web サイト

<https://www.san-ikukai.or.jp/sumida/tachibana/index.html>

知っ得! ケア

ヒートショック

～脱衣所や浴室を
温かくしましょう!～

「ヒートショック」とは、温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動することなどが原因となり、失神や心筋梗塞、不整脈、脳梗塞を起こすことです。

入浴中の突然死のうち、年間およそ1万7000人の人々がヒートショックに関連したと言われていて、その数は交通事故による死亡者数を大きく上回っています。特に外気温が低くなる12月から1月にかけて、入浴中の突然死が最も増えるので注意が必要です。

ヒートショックへの対策として重要なことは、脱衣所や浴室を温かくすることです。暖房器具で暖めるなど工夫をしましょう。また、シャワーを活用した浴槽へのお湯張りは効果的です。

お湯の温度はぬるめの38～41℃位に設定しましょう。暖め過ぎないようにすると、急激な血圧低下を防げます。食後1時間以内や飲酒時は、血圧が下がりやすくなるため、入浴を控えた方がいいでしょう。

入浴の仕方一つとっても、ヒートショックの回避に繋がります。徐々に身体を温めるように、手や足といった末端の部分にかけ湯をし、足からゆっくり入ります。お湯から上がる際も、ほんのりと汗ばむ程度で、急に立ち上がりずゆっくり出るようにしましょう。急激な温度変化を起こさないようにする意識が大切です。



小田巻蒸し(うどん入り茶碗蒸し)

身体も温まり、お腹も満足な冬にぴったりのレシピ!

■材料(2人分)

【具材】	うどん……………1玉	鶏肉……………30g×2個
	椎茸……………2個	かまぼこ……………4枚
	銀杏……………適量(なくても可)	三つ葉……………適量(なくても可)
	だし汁……………200cc(1カップ)	
【卵液】	卵……………2個(Mサイズ)	だし汁……………400cc(2カップ)

■作り方

1. だし汁を作り、冷ましておく。(卵液用+具材の下味用)
2. 1のだし汁から200ccを小鍋に移し、椎茸と鶏肉に火を通す。(椎茸、鶏肉の順番で加熱すると、鶏肉の灰汁や臭みが椎茸にうつりません)
3. うどんはお湯か水でほぐし、水を切っておく。
4. 器にうどん、鶏肉、椎茸、かまぼこ、銀杏などを盛りつける。
5. 1で冷ましただし汁に卵を加え、卵液を作り2度濾す。(濾す工程は省略可)
6. 4の器に5の卵液を静かに流し込む。
7. 蒸し器に6を入れ、強火で2分、鍋蓋に箸を挟んで隙間を作って弱火で5分加熱。火を止め、鍋蓋を完全に閉めて余熱で5分置いたら完成。(余熱にするタイミングで三つ葉を加える)

手間がかかりそうな茶碗蒸しも、だし汁に市販のうどんスープやおでんだし、白だしなどを使うことで、他の調味料を使わなくても簡単に美味しくなります♪ もし卵液を味見して薄いと感じたら、お好みで調味料を足して調整してください。

(レシピ提供:たちばなホーム 管理栄養士:山崎綾)

賛育会ヒストリー

賛育会の歴史物語



1977(昭和52)年、賛育会病院南側の敷地に12階建てのマンション建設計画が浮上した。そのマンションが建つと7階建ての賛育会病院はすっぽり日陰に覆われることになる。そこで地元の建設反対同盟に加盟、墨田区長幹旋による交渉、裁判所による調停などを経て、マンション計画は中止となった。代わりに、地元から要望のあった「老人センター」建設で和解が整い、賛育会は喜びをもって新たな老人福祉事業を開設することとなる。

1979(昭和54)年に理事石原力、岡田良一らを初めとする建設委員会が発足、4月には、東京YMCA野辺山高原センター所長の大内康平を賛育会本部企画課長として迎え、計画は進む。1981(昭和56)年1月に起工し、同年10月に竣工、11月21日に竣工式を挙行了。こうして、鉄筋コンクリート6階建て、延床面積

第三章 賛育会 事業はじめて物語

第四話 東京清風園(中央・墨東事業所):東京都墨田区

1689.13㎡、定員50名の特別養護老人ホームとケアセンター(短期入園・入浴・機能回復訓練サービス他)を備えた都市型特別養護老人ホーム「東京清風園」が開設したのであった。

この「都市型」特養は、賛育会が提言する「福祉社会」の形成を意識した施設であった。つまり、都心に住む人にとっては、住み慣れた都心で余生を送りたい思いがあり、その思いに寄り添うために、広い土地が得られにくい都心で、高層建築という技を駆使し、住み慣れた都心で余生を過ごせる東京清風園を生み出したのであった。

2012(平成24)年5月1日、東京清風園は特養の158床への増床に加え、グループホーム・ケアハウスへと機能を拡張し墨田区立花へ移転、「福祉社会」の充実発展の為に、中央・墨東事業所の中核として、その役割を果たしてきている。



介護 外国人受け入れ 拡大2法案成立へ

介護現場などで働く外国人の受け入れ拡大につながる外国人技能実習制度の適正化法案と、入管法の改正法案が衆参両院を通過しました。政府は来年春の施行を目指しています。

適正化法案が成立して施行されれば、政府は技能実習の対象職種に新たに「介護」を加える方針です。また入管法の改正では、日本で介護福祉士の国家資格を得た外国人を対象に、「介護」の在留資格を設けます。

現在介護の現場で働く外国人は、就労に制限のない永住権を取得している人、2国間(インドネシア・フィリピン・ベトナムの3か国)の経済連携協定(EPA)で介護福祉士候補者として入国した人(ただし4年間のうちに介護福祉士国家試験に合格しなければ帰国することになります)、留学生として入国し週28時間以内の労働が可能な人です。

墨田区の特別養護老人ホームたちばなホームでは、介護職員40人のうち10人が永住権を持つ外国人です。この人たちの活躍がなければ、事業の継続さえ成り立ちません。今後外国人の皆さんを積極的に受入れるのであれば、外国人が働きやすい環境を構築するのは受入側の我々の責務だと考えています。



アラカルト 賛育会は、2018年3月16日に 創立100周年を迎えます。



「100周年記念事業プロジェクト」を立ち上げ、様々な企画を職員一丸となって準備しています。

その企画の1つとして、創立100周年記念日である2018年3月16日の500日前から、当法人ホームページにて、カウントダウンを開始しました。

賛育会の職員やご利用者が、日替わりで創立100周年までの残り日数をご案内しています。ぜひホームページをご覧ください、カウントダウン写真をお楽しみください。他にも様々な取り組みを企画中です。順次お知らせしていきますので楽しみにお待ちください。

San-iku 通信 Vol.12 2017年 冬号

編集発行人: 西原 良信

発行所: 社会福祉法人 賛育会

東京都墨田区太平3-17-8 電話: 03-3622-7614

印刷: (有)エースプリント



賛育会ホームページ <https://www.san-ikukai.or.jp/>



さんいく保育園有明(東京都江東区) クリスマスクッキー作り & おやつ試食会



さんいく保育園有明では食育活動に積極的に取り組んでおり、小さなお友達にもクッキングを実施しています。12月16日に、0~2歳児合同でクリスマスクッキー作りに挑戦!! クッキー生地を好きな形に成形しました。生地が配られるとすぐに手に取り「にぎにぎ」する子どもたち。それぞれ個性豊かな形が出来上がりました。待ちに待った試食の時間。教室中には香ばしい香りが! 一口ほおばれば、皆ニコリ笑顔。大満足のクッキングとなりました。

Hello! ホスピタル 賛育会病院

Vol.12

舌下免疫療法外来を 始めました

～通年性アレルギー性鼻炎の治療に～

「通年性アレルギー性鼻炎」の治療法のひとつに、アレルギー免疫療法があります。今までのお薬は、症状をおこす物質の働きや鼻の中の炎症を抑えて症状を緩和しますが、アレルギー免疫療法は、アレルギーの原因であるアレルギーを少量から徐々に投与することで、体をアレルギーに慣らして、症状を和らげたり、日常生活に与える影響を改善するなどの効果が期待されます。このアレルギー免疫療法は、従来皮下注射で行われてきましたが、最近、舌の下で治療薬を保持する「舌下免疫療法」の薬が登場し、自宅で服用出来るようになりました。舌下免疫療法では、スギ花粉症とダニアレルギーによる通年性アレルギー性鼻炎が保険適応となっています。スギ花粉につきましては、治療時期がありますのでお問い合わせください。



- くしゃみがよくでる
- さらさらした鼻水がでる
- 鼻がつまる ●鼻や目が痒い

上記のような症状で悩まれる場合は、ご相談下さい。舌下免疫療法外来は完全予約制となっています。

■担当医師 内科 田中康子医師

■診療日 金曜日 13:30~15:00 ※祝日は除く

■予約申込 予約センター ☎03-3622-9103

■予約受付時間 月~金(祝日は除く)9時00分~16時00分